

みなさん、おはようございます。

令和5年度がスタートしました。この4月からマスクの着用が個人の判断に委ねられるなど、以前に比べて制限がだいぶ緩和されました。また、これまで行ってきた黙食についても解除したいと思います。

しかし、一方で新型コロナウイルスの感染者数は下げ止まり傾向を見せており、引き続き手洗いや消毒、換気の徹底などに取り組んでいただきたいと思います。いつ第9波が来るのか、それとも新型コロナウイルスが終息するのか、まだ予測ができないと思います。

ですから、特に感染リスクが高いとされる「食事の場面」については、これまでのような黙食は解除しますが、

- ・机を向かい合わせにしない
- ・大声での会話は控える
- ・換気を行う

などの制限をせざるを得ないと思いますので、十分理解をしていただきたいと思います。14日（金）から昼食時間を挟むこととなりますが、年次の先生の指示に従っていただきたいと思います。

さて、新座柳瀬高校は今年度で開校16年目は迎えますが、来年度に大きな変化を迎えます。それは、昨年6月に通知でお知らせしましたが、本校に所沢おおぞら特別支援学校高等部の分校が設置され、1年次生16名が入学してきます。

それに伴い、今年度は校舎だけでなくグラウンドも含めて大幅な工事が入ることになりますので、理解をしておいてほしいと思います。

例えば、1階にいる1年次生は途中から5階の教室に移ったり、グラウンドの一部に農場を設けるための工事が行われたりもします。

埼玉県では、特別支援学校の高校内分校が既に10校が開校しています。この4月には狭山清陵高校、鳩ヶ谷高校、白岡高校内に分校が開校しましたし、来年4月には本校に加え、三郷北高校と大宮商業高校内に分校が開校し、県内で計13校となります。

今日は、本校にいったいどんな変化が起きるのか、皆さんが少しでもイメージしやすいように8分間ほどの動画を持ってきましたので見ていただきたいと思います。

～ 動画視聴8分間（R41022 放送分「いまドキッ！埼玉」～高校内分校について～）

なお、これは松伏高校内に設置された越谷西特別支援学校松伏分校の様子ですので、本校で全て同じ状況になるとは限りません。

確かに高校と分校は別の学校ですし、カリキュラムも違います。3年次生は来年3月に卒業しますので、直接的なかかわりはありませんし、2年次生はわずか1年間のお付き合いです。しかし、同じ敷地内で生活する同世代の仲間同士、お互い理解しあい、誰もが住みやすい社会が実現できたら素晴らしいと思います。

新座柳瀬高校は、次のステージに向け、今年度は大幅な工事などが行われますが、皆さんに協力をお願いしたいと思います。

最後に、分校の開校準備に当たり、所沢おおぞら特別支援学校の3人の教職員の方が本校の事務室で勤務されておりますので、この場を借りて紹介したいと思います。

(開校準備副室長1名、準備委員2名を紹介)

それでは、一言お願いいたします。～ 代表(準備副室長)からあいさつ ～

令和5年度が、皆さんにとって良い1年になりますことを祈念し、校長講話を終わりにします。